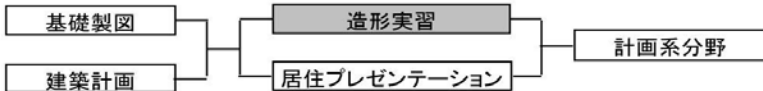


科名： 住居環境科

訓練科目の区分		授業科目名	必須・選択	開講時期	単位	時間/週
教育訓練課程	専門課程	造形実習	選択	IV期	2	4
教科の区分	系基礎実技					
教科の科目	造形実習					
担当教員		内線電話番号	電子メールアドレス		教室・実習場	
授業科目に対応する業界・仕事・技術						
総合建設業における意匠設計業務 工務店(住宅)における意匠設計業務 設計事務所における意匠設計業務						
授業科目の訓練目標						
授業科目の目標	No	授業科目のポイント				
造形活動に関する基本原理や空間認識の理解を制作課題を通して行う。	①	人に形態を伝えるための図が描ける。				
	②	形態の調和手法について知っている。				
	③	色彩の調和法について知っている。				
	④	模型の作成方法について知っている。				
	⑤					
	⑥					
	⑦					
	⑧					
	⑨					
	⑩					

授業科目受講に向けた助言	
予備知識・技能技術	自分なりに好きな形の条件を理解しておくことが重要です。身の回りのモノの形態について、自分なりの評価を行い、言葉で表現する練習をして下さい。
授業科目についての助言	頭の中で想いかべたイメージあるいは目で見えた形態を正確に絵や図あるいは模型にしたりすることは、思った以上に難しいことですが、何度も練習することで上達します。
教科書および参考書(例)	教科書: 自作テキスト
授業科目の発展性	 <pre> graph LR     A[基礎製図] --- B[造形実習]     C[建築計画] --- B     B --- D[居住プレゼンテーション]     D --- E[計画系分野]             </pre>

評価の割合(例)								
指標・評価割合	評価方法	試験	小テスト	レポート	制作物	成果発表	その他	合計
評価割合	授業内容の理解度				80		20	100
	技能・技術の習得度				20			
	コミュニケーション能力				20			
	プレゼンテーション能力							
	論理的な思考力、推論能力							
	取り組む姿勢・意欲					40		20
	主体性・協調性							

回数	訓練の内容	運営方法	訓練課題 予習・復習
----	-------	------	------------

1週	平面と空間構成	実習	道具の使い方・加工方法について学びます。
2週	平面と立体構成	実習	課題を通して作品を作ります。
3週	平面と立体構成	実習	課題を通して作品を作ります。
4週	模型制作	実習	模型の作成を行います。
5週	模型制作	実習	模型の作成を行います。
6週	模型制作	実習	模型の作成を行います。
7週	模型制作	実習	模型の作成を行います。
8週	模型制作	実習	模型の作成を行います。
9週	模型制作	実習	模型の作成を行います。